



平成 22 年 10 月 8 日

各 位

会 社 名 ワイエイシー株式会社
代表者名 代表取締役社長 百瀬 武文
(コード番号 6298 東証第一部)
問合せ先 常 務 取 締 役 宮本 忠泰
(TEL. 042-546-1161)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

(金額の単位：百万円)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,100	400	370	200	21 円 51 銭
今回修正予想 (B)	4,570	250	240	50	5 円 38 銭
増 減 額 (B-A)	△1,530	△150	△130	△150	—
増減率 (%)	△25.1%	△37.5%	△35.1%	△75.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,396	△304	△353	△391	△42 円 06 銭

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,000	1,400	1,350	750	80 円 66 銭
今回修正予想 (B)	12,700	1,050	1,020	450	48 円 40 銭
増 減 額 (B-A)	△2,300	△350	△330	△300	—
増減率 (%)	△15.3%	△25.0%	△24.4%	△40.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	9,144	158	104	11	1 円 27 銭

(金額の単位：百万円)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,900	370	1,150	1,000	107 円 55 銭
今回修正予想 (B)	4,530	290	1,070	900	96 円 80 銭
増減額 (B-A)	△1,370	△80	△80	△100	—
増減率 (%)	△23.2%	△21.6%	△7.0%	△10.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	14,600	1,330	2,100	1,500	161 円 33 銭
今回修正予想 (B)	12,300	1,000	1,800	1,250	134 円 44 銭
増減額 (B-A)	△2,300	△330	△300	△250	—
増減率 (%)	△15.8%	△24.8%	△14.3%	△16.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	9,035	226	241	137	14 円 80 銭

修正の理由

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績見通しについて

売上高では、太陽電池事業において当初 9 月に予定していた装置の売上が顧客の都合により 10 月以降にずれ込んだこと、クリーニング事業において国土交通省のクリーニング業者への建築基準法の適用問題の影響が長引いていることにより装置の買い控えがあったこと、等により予想を下回る見通しとなりました。利益面では、売上減少に伴う利益減少に加え、急激な円高に伴う海外装置メーカーとの価格競争激化による利益率の低下等により収益を圧迫いたしました。

平成 23 年 3 月期通期見通しについて

太陽電池事業において顧客が今期中に見込んでいた現行技術での設備投資を効率のよい新技術での導入を睨んで投資時期の見直しを検討していること、その他部門においても一部設備投資の遅れ等の理由により当初予想を下回る見通しとなりました。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想と異なる場合があります。

以上